

平成29年度第2回甲賀市地域福祉計画審議会【会議結果】

1. 日 時 平成30年2月23日（金） 午前10時～午後0時15分

2. 場 所 甲賀市役所4階 402会議室

3. 出席者

(1) 委員 橋本恵順委員、西村敦子委員、栗田修司委員、富岡正義委員、澤幸雄委員、安達みのり委員、大西安雄委員、嘉郷重郷委員、金子秀明委員、打田絹子委員

(以上、10人)

【欠席委員】

森田千歳委員、辻淳子委員、森井登委員、西村與利子委員、廣岡隆之委員

(2) 事務局 【健康福祉部】

桑田和哉健康福祉部次長

【健康福祉部社会福祉課】

幡野啓二課長、福永和也係長、森田剛史主査

4. 傍聴者 なし

5. 会議結果

(1) 意見聴取事項

社会福祉法改正の概要 中間見直しに向けた方向性について

【主な意見】

- 計画策定にあたっては、現場の視点を具体的な形で取り込んでいくことが求められる。
- 法改正により、あらゆる生活課題に対応することになる。コミュニティが弱くなっている中、計画を実現するには時間をかけて成熟させていかなければならない。ここ数年でこれだけはやろうという優先順位を決めて、計画に現実性を持たせては。
- サービスを利用しようとしなない、困り感を持った方にどうやってサービスを届けるか。担当する方、連絡する方、集約する方などがそれぞれ複数必要となる。計画を見直す中で、一人ひとりの住民の力が大切になるので、太いパイプを持ってほしい。
- 自殺対策など、セーフコミュニティの取組みと連携することが大事。他の個別計画を地域福祉計画に取り込み連携することも検討を。
- 地域のつながりが希薄化している現実に悩む地域への支援を計画見直しに盛り込んでいかなければならない。
- ひきこもりの8050問題への取組みなど、圏域の特性を活かして独自の取組

みを。

○横断的に取り組むとあるが、現在対応中の事案からは市内部の連携が取れているか心配になる。

○住民主体で地域の悩みを解決していく流れの中で、先進的な取り組みを始めている。市内で企業主導で子育て、高齢、障がいという福祉が一同に集まった場所ができ、女性活躍の支援活動も行う。また、自治振興会で古民家を活用した居場所づくりが行われており、その場所の空き時間を利用して女性活躍の取り組みを計画している。

(2) その他

次回審議会の開催時期について

平成30年7月23日、24日、25日のいずれかの午後を予定

6. 会議録 別添のとおり

7. 会議資料 別添のとおり